

建設業の3つの役割

社会資本整備・維持の担い手

県民の生活や経済活動の基盤となる道路、橋梁、トンネルといった社会資本の整備はもちろん、維持管理や補修も建設業が担っています。

【岐阜県が管理する社会インフラ】
(H24.4.1現在)

▽橋梁(15m以上)・・・1,631カ所	全国第2位
▽トンネル……………173カ所	全国第6位
延長99,375m	全国第2位
▽道路管理延長…4,152km	全国第11位

地域防災の担い手

災害発生時に、地域の建設業が現場に駆けつけ、道路・河川など社会インフラの早期復旧を担っています。



▲家屋の流出を防止するための護岸応急復旧作業

地域の経済と雇用を支える基幹産業

建設業は、岐阜県の基幹産業であり、県内経済と雇用を支える担い手です。

【岐阜県の建設業について】

▽建設業における経済生産額 (H23市町村民経済計算)	…4,054億円	県内全体の5.7%
▽建設業許可事業者数(H26.3.31現在)	…8,612事業者	
▽建設業就業者数(H22国勢調査)	…84,542人	

若手男性技術者が語る 女性のこんなところがすごい!

家業を継ぐために建設業に就きました。子どものころから、父親は憧れです。近隣住民とのコミュニケーションやきめ細かなフォローはやはり女性の方が上手。安全に対しても、男性では気が付かない点にしっかり目をやってくれます。男性社会という認識が強い建設業ですが、現場で女性の姿を見ると「カッコイイ!」と感じます。これからも、現場を引っ張ってほしいです!今は現場のことしか分かりませんが、将来は一緒に働く人やその家族のことまで考えられる職人になりたいです。

●株式会社藤本組 正村嘉良さん(21)



No.3 橋本陽子さん
●Profile

高山市在住。知人に勧められたことをきっかけに始めた建設業歴は19年。車両系建設機械の資格を取得し、活躍中です。



プライベートコメント
休みには車を運転して買い物に出かけるのが好きです。他には料理をしたり、自宅でゆっくりしたりして時間を過ごしています。

お仕事コメント
20歳の頃に資格を取り、重機にも乗るようになりました。日々の仕事を一つひとつと終えることに精いっぱいですが、楽しんでいます!

技術を磨き「腕がいい!」と評判になった重機操作が武器 株式会社嶋田建設 橋本陽子さん

と笑う橋本さんですが、「男性よりも上手。腕がいいよ!」と現場からの評判は上々です。「重いものが多く、大変なこともありますが、それでも男性従業員が助けてくれたり、相談に乗ってくれたりするので楽しく仕事を進めています」と話す橋本さん。現場に関わるさまざまな人との会話を楽しみながら「やりがいがある」という大好きな仕事に取り組んでいます。



は、19年前にアルバイトとして建設業の世界に飛び込みました。「はじめは危険に思った親が心配していましたが、今は応援してくれています」と笑顔で話します。現場で働く人の仕事はスムーズに進むよう、現場整理などから始め、今では資格を取得してアトンのパワーショベルも操ります。「普通自動車の運転とは違い、難しいこともあります。今でも不安なときがある」



岐阜県には、仕事に誇りをもち私たちの暮らし建設業という、男性の活躍がクローズアップされを豊かにするため、日々汗を流す女性があります。がちな業界で、輝く女性の姿を見つけました。

現場で輝くギフジョ発見! いま、建設業がカッコイイ

「コミュニケーション能力が試されますね」と笑いながら上司と話すのは、工務課に所属する中田宏美さん。幼い頃から「手に職を」と言われ、建設業で働く親戚がいたこともあり、モノづくりに魅力を感じていたとのこと。大学で土木を学んだ中田さんは「常に動いていたい!」と現場監督の仕事を選択。現在は民間土木工事を担当し、施工主との打合せや事前測量、設計、書類作成現場管理とあらゆる業務に取り組んでいます。

「建設業に就きたいと考えている関わって進める過程にとても魅力を感じています。やる気と根性は必要だけれど、完成を迎えたときの達成感はもちろん、卓越した技術をもつ多くの職人と比べていると話してくれました。」「建設業に就きたいと考えている

プライベートコメント
バイオリンが趣味。弦楽四重奏団を結成して自主公演などを開いています。次は11/9(日)14時から池田町中央公民館のロビーで開催!



No.2 中田宏美さん
●Profile

建設業歴は17年。大学で土木を学び建設業の世界へ。産休・育休制度や勉強会が充実している株式会社市川工務店で働いています。

お仕事コメント
自分の仕事が目に見える形で残るときはとっても嬉しいです。見えなくてもみんなで力を合わせて完成させたときの感動は格別ですよ!



種から育てたレモンの木を撫でながら「植物を触っていると心が一番幸せ」と、優しい表情を見せる堂前満里さん。造園業の仕事は、芝張りや植木の管理など、比較的女性が得意と

「女性が建設業の現場で働くには、社内での理解が重要。時には帰りが遅くなったりすることもあります。責任を持って仕事をすること、やりがいと自信はついてきます」と目を輝か

せます。「きれいにしてくれてありがとう。施工からのこの一言が、堂前さんを支えています。」



No.1 堂前満里さん

●Profile
飛騨市在住。建設業歴は22年。有限会社堂前園芸で総務部に所属し、現場、書類整理などあらゆる業務を担当しています。2人の男の子は自慢の息子です。

する内容が多く、順応しやすかったと振り返ります。写真管理や測量、資格を取得しての現場管理など、一つひとつできることを増やしていった堂前さん。「女性の方が向いていることもあれば、男性にしかできないこともある。それぞれの力を発揮する場があるんです」という言葉からは、共に仕事をする仲間同士で、得意、不得意なところをカバーし合って進める、堂前さん流の仕事ぶりが見えてきます。



プライベートコメント
子どもの剣道を応援するのが大好き!道着や袴の管理もしています。時間があるとピアノを弾いたり読書をしたりして過ごしています。

お仕事コメント
「堂前さんの現場はいつもきれいだ!」って言われると、「やった!」って嬉しくなります。私だからできることを見つけてるのが楽しいです。

女性も男性も、みんなが活躍できる現場 そんな環境づくりを少しずつ進めていきたい

●有限会社堂前園芸 堂前満里さん